



つくば市立栄小学校

# さかえ小 ニュースレター

No. 7

R7. 4. 30

One for all , all for one. ～一人はみんなのために みんなは一人のために～〔児童数〕 295名

## 学校教育目標:認め合い、学び合い、自分で考え行動する児童の育成

### 風薫る新緑のもとで～新たな挑戦～

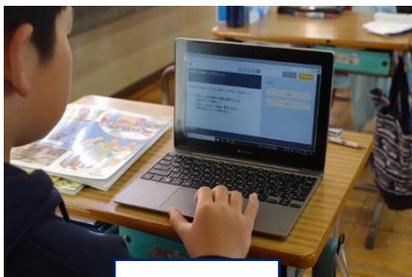
周囲の木々がいつの間にか新緑に色づき、さわやかな風に揺れています。明日から「風薫る五月」、令和7年度も、はや1ヶ月が経過しようとしています。入学した1年生はもちろん、2～6年生も新しい級友との出会い、そして新しい学習もスタートし、慌ただしくも充実した1か月になったことと思います。

さて5月は、2・3・6年生がそれぞれ校外学習を行います。また、29日(木)には運動会を予定しています。それぞれよりよい活動するために、当日に向けて準備を進めていきます。栄小の子供たちの挑戦を保護者の皆様と連携して支えていきたいです。



### 児童の活躍

6年生は、社会科で日本国憲法について学習しています。この憲法と自分たちの暮らしとの関連を学習しながら、政治や市民生活について考えを深めていきます。6年生は、18歳を迎える6年後には選挙権を得ることになります。これからの日本、これからのつくば市を支える大切な一人として、学びを深めてほしいです。



6年社会



5年国語



4年図工

### 引き渡し訓練～緊急時への備え～

2日(金)の午後、「桜学園引き渡し訓練」を行います。今回は、大地震が発生するという想定で実施します。地震発生時には、机の下にもぐり身を守る。その後、「お・か・し・も」の約束を守り、避難経路を通過して校庭に避難するなど、基本的な行動について練習します。

心理学用語に「正常性バイアス」という言葉があります。「正常性バイアス」とは、人間が予期しない事態に対峙したときに、「ありえない」という先入観や偏見が働き、物事を正常の範囲だと自動的に認識する心の働きを指します。突発的な災害や事故に遭ったとき、「これぐらいなら大丈夫」と勝手に判断してしまうことのほかに、事態の状況をつかめずに「どうしていいかわからない」と動けなくなることがあります。これらの時に必要なことが「落ち着いて行動すること」であり、そのために有効なのが「訓練」です。災害はいつやってくるか予測できないからこそ、明日の「訓練」を大切にしたいと考えています。保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。